

# merci pot

電動鼻水吸引器 メルシーポット S-502

**取扱説明書** Ver. 3.5

## で使用の前に

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
製品の特長	6
商品の構成	7
木休各部のなまえとはたらき…	ρ

## 正しい使いかた

ご使用前の準備1(
吸引のしかた12
吸引がおわったら15

## お手入れと保管について

洗浄・	消毒17	•
組み立	てかたと保管について…22	,

## 困ったときに・保証など

故障と点検について	25
仕様と別売品について	30
保証規定と保証書	32

このたびは、電動鼻水吸引器メルシーポットをお買い上げいただきましてありがとうございました。 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。 本書は品質保証書を兼ねています。無償修理の際に必要となりますので、大切に保管してください。

# 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全にご使用いただくために、必ずお守りください。

警告サイン	説明	
▲警告	「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。	
<b></b>	「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。	

図 記 号	説明
$\Diamond$	してはいけないこと(禁止)を示します。
0	しなければならないこと(必ず守ること)を示します。

#### ご使用に当たって

# ▲警告

- メルシーポット S-502 は鼻汁を吸引する医療用吸引器ですので、必ず医師または医療従事者の指導のもと、使用してください。
- 本器に異常が生じた場合は直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 (万一、故障した場合は、内部機器には触れずお買い上げの販売店にご連絡ください。)
- ご購入後、初めてご使用になるときや、長期間ご使用にならなかったときは、使用前に清拭または消毒を行ってください。(本製品は未滅菌で出荷されます。)
- 吸引物が吸引ボトルの規定容量(335mL)を超えないようにしてください。 (ポンプ内に吸引物が吸引されると故障の原因になります。)
- ロングシリコンノズルを使用する際は、必ず医師または医療従事者の指導のもと使用してください。
- アデノイド肥大や、鼻の粘膜が腫れている場合、生まれつき鼻腔閉鎖または鼻腔が狭くなっている場合、レーザー手術後の場合は使用しないでください。また、以上の症状が疑われる場合は必ず医師に相談してください。呼吸困難になるおそれがあります。
- 本器の使用目的以外の目的(採血用など)では絶対に使用しないでください。
- 本体各部に注油しないでください。
- 規定以上の連続運転はしないでください。(5分まで)
- 可燃性ガス雰囲気内で使用しないでください。(火災やけがの恐れがあります。)
- 絶対に分解・改造を行わないでください。(発火や感電、けがの恐れがあります。)
- 本体背面の排気口を塞がないでください。
- 本体および AC アダプターは防水構造ではないため、水やお湯などで丸洗いしたり、水に浸したりしないでください。(感電、ショートの恐れがあります。)
- 機器と接触する部分に傷や炎症、出血などが見られる場合は、使用しないでください。
- 付属の専用ACアダプター以外は絶対に使用しないでください。発火や故障の原因となります。





# 注意

- 本器は周囲温度 +5 ~ +35℃、相対湿度 75% 以下(結露無きこと)の環境で使用してください。(正常に動作せず、症状が悪化する恐れがあります。)
- お子様が使用するときは、必ず保護者の方が付き添ってください。 (誤った使い方により、症状が悪化する恐れがあります。)
- 吸引圧を調整するときは、弱い圧から段階的に調整してください。
- 部品は水気を十分に切ってから取り付けてください。 (ポンプ内に水などが吸引されると故障の原因になります。)
- ボトルカバーへはフロートセットを必ず取り付けて使用してください。
- 水平で安定した場所で使用してください。



(ポンプ内に吸引物が入り、故障の原因となります。)

- 本体のすき間から内部に指や物を入れないでください。 (感電や故障、けがの原因になります。)
- 本体を毛布やタオル等で包んだ状態で使用しないでください。 (発熱や感電、故障の原因になります。)
- 吸引ボトル内に陰圧が残っている状態で、電源スイッチを「ON」にしないでください。
- 本体を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。 (破損し、感電や故障する恐れがあります。)
- 吸引ボトルを落としたり、ぶつけたりしないでください。
- 吸引ボトルに割れ、キズ、カケがあるものは使用しないでください。
- 本製品の付属品および当社純正の別売品以外は使用しないでください。 (正常に動作せず、症状が悪化する恐れがあります。)
- ボトルセットを本体と接続した状態で回転させないでください。 (ボトル内の吸引物が本体の中に入り、故障の原因となります。)



#### 電源について

## ▲警告

必ず専用のACアダプターを使用し、交流100-240V(50-60Hz)で15A以上の容量があるコンセントに接続してください。
 (異なる電圧で使用すると、感電や発煙、火災の原因になります。)



- 濡れた手で電源コードや電源プラグを抜き差ししたり、触ったりしないでください。 (感電によるケガをする恐れがあります。)
- AC アダプターのプラグ部分を外さないでください。



# ⚠注意

- コンセントは単独で使用してください。 (火災や漏電の原因になります。)
- 電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。 (感電やショート、発火の原因になります。)
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。

(電源コードが破損して、感電や発火の原因になります。)

- 電源プラグやコンセントにほこりを溜めないように、定期的に清掃してください。 (コンセントが熱を持ち、ほこりに引火することがあります。)
- AC アダプターは、アダプターについている LED ランプ点灯時のみ、電力が供給されます。



## 

• 電源コードや電源プラグが痛んでいたり、コンセントの差し込み具合が緩いときは使用しないでください。

(感電やショート、発火の原因になります。)

• 電源コードを傷つけたり、重いものを載せたり、力を加えたりしないでください。 (発火、感電の恐れがあります。)



## お手入れと保管について

## ▲警告

- 本体及び付属品は清潔な場所で保管してください。 (雑菌が繁殖し、感染の原因になります。)
- 部品の取り付け・取り外し、お手入れのときは、電源スイッチを「OFF」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 (感電や誤動作によるけがの原因になります。)

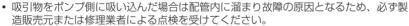


- 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 (プラグにほこりが付着し、発火・火災の原因になります。)
- 子供の手が届くところには置かないでください。 (小さな部品を飲み込む原因になります。万一、飲み込んだ場合には直ちに医師にご相談ください。)



## ⚠注意

- ご不要となった本体や付属品、別売品を廃棄する場合は、お住まいの自治体のルールに従って廃棄してください。(環境汚染の原因となることがあります。)
- 洗浄時の吸引においても、吸引ボトル内に吸引物がいっぱいにならないよう常に監視してください。





- プラスチック部品は熱に弱く、変形することがありますので、吸引チューブを洗浄する際は、必ず水かぬるま湯をご使用ください。
- 本器をベンジンやシンナーなど揮発性の薬品で拭かないでください。 (故障の原因になります。)
- 次の場所には設置及び保管しないでください。
  - ー化学薬品の保管場所、ガスの発生する場所(本製品は防爆構造になっておりません。)
  - -水のかかる場所
  - ほこり、塩分、硫黄分、湿気などの多い場所(火災や感電の恐れがあります。)
  - 傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所(転倒や落下などで破損し、故障する恐れが あります。)
  - 直接日光の当たる場所(日光が当たっている部分が高温になり、故障する恐れがあります。)



## 保守点検について

## **注意**

- 使用前に必ず本体が正常かつ安全に動作することを確認してください。
- 日常点検及び、保守点検(ユーザー点検)を必ず行ってください。
- 1年に1度は製造販売元または修理業者による年次点検、整備を必ず行ってください。 (性能や安全性を維持できなくなります。)
- 定期的な清掃や点検をしてください。本器を永く安全にお使いいただくため、また突然の故障等を防ぐためにも、必ず本書に従った日常点検、保守点検(ユーザー点検)及び定期点検を行ってください。
- 長期間使用しなかった場合は、点検に出すなど作動上の安全を確認してから使用してください。
- 吸引器は、吸引配管内やポンプ内にミスト状の吸引物を吸い続けていますので、使用 頻度によって吸引圧に影響がでてきます。必ず、製造販売元または修理業者による定 期点検をお受けください。(有料)



## 消毒、消毒薬使用について

## ▲警告

部品を洗浄・滅菌または消毒した後は、十分に水洗いを行い、よく乾燥させてから清潔な場所に保管してください。
 (乾燥が十分でないと雑菌が繁殖し、感染の原因になります。)



# 

- 消毒の前に必ず洗浄を行ってください。 (汚れ、付着物等がついたままでは、消毒の効果が低くなります。)
- 消毒薬の希釈濃度及び浸漬時間は、各種消毒薬の添付文書に従い用法、用量を守り正しくお使いください。
  - (高濃度、もしくは必要以上に長時間の浸漬消毒は部品を劣化させる原因になります。)
- 消毒薬に直接接触したり、気化したガスを吸わないように注意してください。 (手荒れを起こしたり、有毒なガスを吸い込んだりする場合があります。)
- 煮沸消毒するときは、空焚きに注意してください。(火災を起こす原因になります。)
- 消毒薬は、他の消毒剤や洗剤と混ぜないでください。 (消毒剤の効力が損なわれたり、危険な成分が生じることがあります。)
- 煮沸消毒に電子レンジは用いないでください。 (火災を起こす原因になります。)
- クレゾール系、両性界面活性剤系は樹脂にヒビ割れ等を生じる可能性がありますので 使用しないでください。

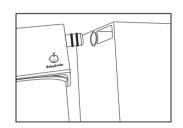


# 製品の特長

- ■本体と一体化するボトルカバーを採用し、美しいデザインを実現しました。
- ■接続がシンプルで、持ち運びのしやすい軽量モデル。女性にやさしい仕様です。
- ■鼻水吸引に必要十分なパワーで、安心してご使用いただけます。

## 吸引ボトルの取り外し

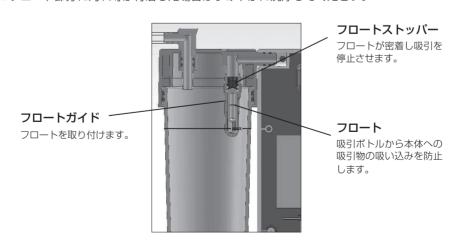
ボトルカバーをスライドさせることで、吸引ボトルを 本体から簡単に取り外す*こと*ができます。



# オーバーフロー防止装置模式図

本器は吸引ボトルのオーバーフローを防止するためのフロートを備えております。 吸引ボトル内が吸引物でいっぱいになると、フロートがフロートストッパーに密着し、吸引が停止します。

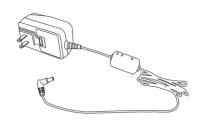
- ※フロートが機能しないことがありますので、吸引物が吸引ボトルの MAX ライン(白線)を超えないように常に監視してください。
- ※フロート部分に汚れ等が付着した場合はすみやかに洗浄してください。



# 商品の構成



1. 本体



2. 専用 AC アダプター



3. 吸引チューブ



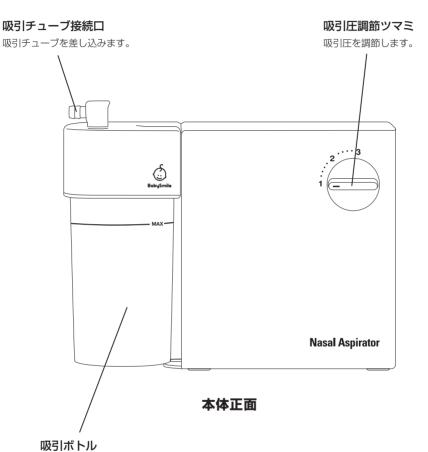
4. ノズルコネクター



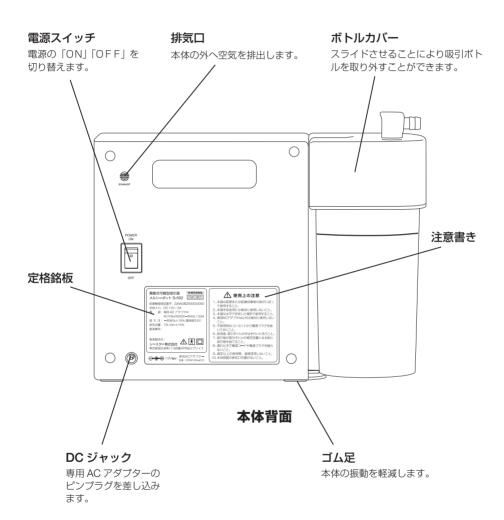
6. シリコンノズル(小2個)

- 7. 取扱説明書兼品質保証書(本書) 8. 添付文書

# 本体各部のなまえとはたらき



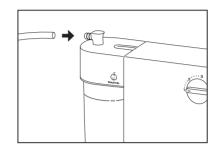
吸引物を蓄積します。 MAX ライン(白線)は吸引ボトルの 限度容量を示しています。



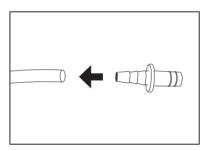
# ご使用前の準備

# 本体組み立て方

本体を安定した場所に置き、吸引チューブを吸引チューブ接続口に接続します。

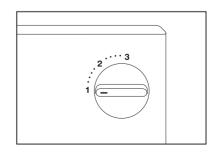


**2** 本体に接続した吸引チューブの反対側に、 ノズルコネクターを接続します。

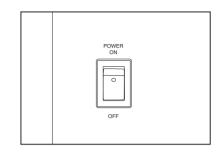


# 電源の準備

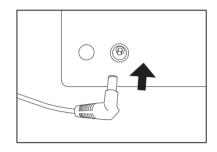
吸引圧調節ツマミが「1」になっていることを確認します。



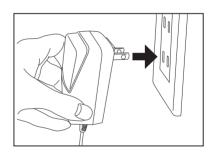
**2** 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認します。



専用 AC アダプターのピンプラグを本体の DC ジャックに接続します。



電源プラグをコンセントに差し込みます。



# ▲警告

- 電源は交流 100-240V (50Hz ~ 60Hz) を使用してください。異なる電圧で使用すると、感電や発煙、火災の原因となる恐れがあります。
- 付属の専用 AC アダプター以外は絶対に使用しないでください。発火や故障の原因となります。



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- AC アダプターのプラグ部分を外さないでください。



• 吸引圧を変更する場合は、シリコンノズルを鼻から抜いた状態で行ってください。



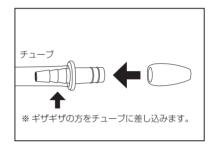
• 吸引ボトル内に陰圧が残っている状態で、電源スイッチを「ON」にしないでください。



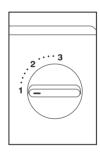
# 吸引のしかた

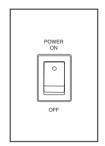
# 鼻水吸引のしかた

- ※吸引中は感染防止のために、使い捨ての手袋などを装着することをおすすめします。 ※本取扱説明書では、操作方法の説明を見やすくするために手袋は装着していません。
- **1** ノズルコネクターにシリコンノズルを接続します。

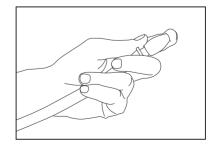


**2** 吸引圧調節ツマミが「1」になっていること、AC アダプターのランプが点灯していることを確認し、本体うしろにある電源スイッチを「ON」にします。





3 シリコンノズルの先端を指で押さえて空気の流入を止めます。



**4** 吸引圧調節ツマミを、適切な吸引力に設定します。

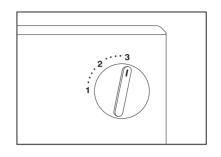
※小児に対して行う時は、様子を観察しながら圧力を設定してください。

※各段階の目安吸引圧

「1」約-30kPa

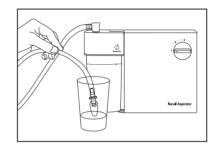
「2」約-60kPa

「3」約-80kPa



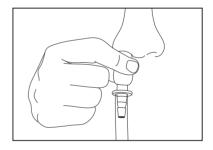
5 シリコンノズルの先端から指を離し、清潔な常水もしくは精製水などにつけて吸引 チューブ内に水を通します。

- ※必ず水かぬるま湯をご使用ください。
- ※シリコンノズルの先端から指を離すと吸引圧が 下がります。これは空気が流入することによる 自然な現象で、機器の異常や故障ではありません。
- ※吸引チューブの内部に吸引物が付着するのを防ぎ、吸引したものがスムーズに吸引ボトルに送られるようにするためです。



5 シリコンノズルを鼻腔に挿入し、鼻水を吸引します。

- ※シリコンノズルで鼻の穴をふさぐようにしてお 使いください。
- ※3秒~5秒程度の短時間の吸引を何回かに分けて行い、6秒以上続けて吸引しないようにしてください。

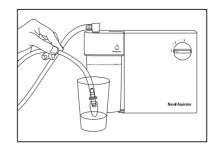


<ロングシリコンノズルをご使用の場合> 別売品ロングシリコンノズルをご使用の場合は付属の使用方法をご覧ください。

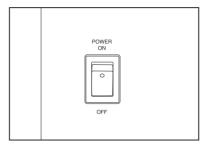
- ※吸引物が吸引ボトルの規定容量 (335mL) を超えないようにしてください。 (ポンプ内に吸引物が吸引されると故障の原因になります。)
- ※規定以上の連続運転はしないでください。(5分まで)

**7** 吸引終了後はシリコンノズルを清潔な常水もしくは精製水などにつけ、吸引チューブ内に水を通します。

※吸引チューブの内部に留まった吸引物を吸引ボトルに移動させ、きれいにするためです。



電源スイッチを「OFF」にし、ポンプを 停止します。



# ▲警告

- 本器の操作については、医師または熟練者の指導に必ず従ってください。
- ご購入後、初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは使用前に 清拭・消毒を行ってください。



• 本体背面の排気口をふさがないでください。



# 

部品は、水気を十分に切ってから取り付けてください。 (ポンプ内に水などが吸引されると故障の原因になります。)※特にボトルカバー部分に水分が残っていないか確認してください。

- 0
- 水または精製水を吸引する際、吸引ボトルの MAX ラインを超えないようにしてください。MAX ラインを超えると本体内部に水が吸引され、故障の原因となります。
- ボトルセットを本体と接続した状態で回転させないでください。 (ボトル内の吸引物が本体の中に入り、故障の原因となります。)
- 本製品を横に倒したりしないでください。 (ボトル内の吸引物が本体の中に入り、故障の原因となります。)



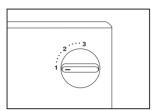




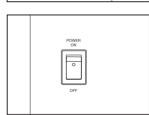
# 吸引がおわったら

# 電源の取り外しかた

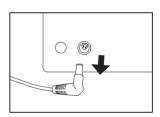
**1** 吸引圧調節ツマミが「1」になっていることを確認します。



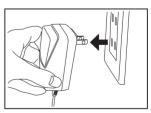
電源スイッチが「OFF」になっていること を確認します。



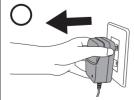
**3** 専用 AC アダプターのピンプラグを本体の DC ジャックから抜きます。



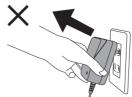
電源プラグをコンセントから抜きます。



## ※ AC アダプターをコンセントから外す際は以下の点にご注意ください。



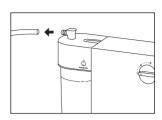
コンセントプラグ がある上部を掴み、 まっすぐに引き抜 いてください。



下から持ち上げて 引っ張らないでく ださい。 A C アダプターが 破損する恐れがあ ります。

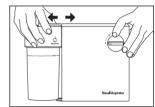
# 吸引ボトルの取り外しかた

・ 吸引チューブ接続口から吸引チューブを 外します。

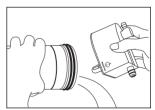


- **2** ボトルカバーをスライドして本体から取り外します。
  - ※ 吸引物が飛び散る恐れがありますので、やさしく取り 外してください。
  - ※本体を横に倒したり、ボトルセットを本体と接続した 状態で回転させないでください。 (ボトル内の吸引物が本体の中に入り、故障の原因となります。)
- 吸引ボトルを片手でしっかりと押さえ、 もう片方の手でボトルカバーの角に指を かけ引き上げるようにして外します。 左右交互に引き上げてください。











## ▲警告

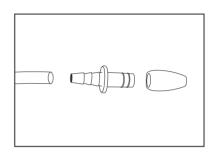
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり触ったりしないでください。
- AC アダプターのプラグ部分を外さないでください。



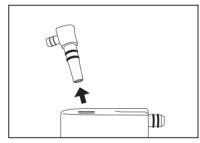
# 洗浄・消毒

# 洗浄前の準備

本体から外した吸引チューブからノズル コネクターとシリコンノズルを外します。

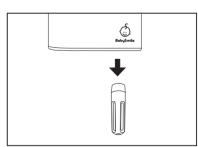


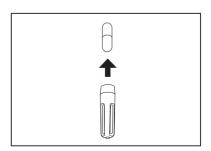
**2** ボトルカバーから、吸引チューブ接続口を 外します。



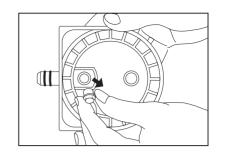
ボトルカバーからフロートガイドを外し、 フロートを取り出しておきます。

> ※フロートは、本体への吸い込みを防止するため に必要です。なくさないようご注意ください。





 ボトルカバーに装着されているフロート ストッパーを外します。



吸引ボトルに装着されている、ボトルパッキンを外します。



# 洗浄と消毒のしかた

## 吸引チューブ内部の洗浄と消毒

中性洗剤を薄めた水溶液に浸しながら吸引チューブ内部にも水溶液を通して洗浄し、消毒用エタノールで消毒します。消毒後、よく乾かします。

※汚れが取れにくい場合は、家庭用で市販されている塩素系 漂白剤を希釈したものに30分~1時間浸け置きをします。 その後すすぎ、水分をよく切り乾燥させます。



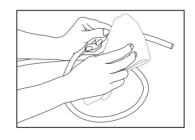


## 吸引チューブ外部の洗浄と消毒

中性洗剤の水溶液を用いて、柔らかいスポンジなどを使い洗浄します。

※中性洗剤を薄めた水溶液に浸すと、チューブの内部と外部が一緒に洗浄できます。

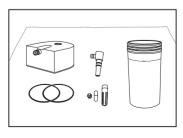
消毒は、酒精綿(消毒用エタノールを含ませた脱 脂綿)で拭きます。



# ボトルカバー、フロートガイド、フロート、フロートストッパー、ボトルパッキン、吸引チューブ接続口、吸引ボトルの洗浄と消毒

中性洗剤を薄めた水溶液に浸して洗浄した上で消毒液などに浸し、清潔な布などの上で乾かします。

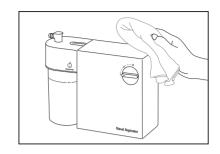
※洗浄する際は、必ず柔らかい布やスポンジなどを用いてください。固いものを使用すると、キズなどの原因になります。



## 本体の洗浄と消毒

水か消毒用アルコールを湿らせて、軽くしぼった 柔らかい布で拭き洗浄します。

汚れがひどい場合は、水で湿らせた布に中性洗剤の水溶液を軽く付けて拭き、清潔でよく乾いた布などで拭き取ります。



# ▲警告

- お手入れや、部品の取り付け・取り外しのときは、電源スイッチを「OFF」にし、 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や誤動作によるけがの原因に なります。
- 洗浄・消毒した部品は、十分に水洗いを行い、すみやかに乾燥させた上、必ず清潔な場所に保管してください。



• 本体や AC アダプターは防水構造ではありません。水やお湯などで丸洗いしたり、水に浸したりしないでください。



• 本体をベンジンやシンナーなど揮発性の薬品で拭かないでください。



## 洗浄・消毒についてのご注意

## 食器洗い機での洗浄・煮沸消毒

以下を除く各部品は、食器洗い機での洗浄・煮沸消毒により変形する可能性があります。

※煮沸消毒できる部品:シリコンノズル、吸引チューブ、フロートストッパー、ボトルパッキン、ボトルカバー接続口用Oリング、吸引チューブ接続口用Oリング

## 煮沸消毒の手順

- 1. 煮沸消毒できる部品を容器(厚手の鍋など)に入れます。
- 2. 容器の中の部品が完全につかるまで水を入れて沸騰させ、そのまま 15 分間煮沸させます。
- 3. 部品を取り出しすみやかに乾燥させます。

# **注意**

- 煮沸消毒するときには、空焚きに注意してください。
- 煮沸消毒するときには、部品が鍋の底につかないように注意してください。



• 煮沸消毒に電子レンジは用いないでください。



## 薬液消毒

- ※消毒の前に必ず洗浄を行ってください。
- ※消毒薬によって使用できる商品の材質および、消毒の対象となる菌が異なります。「消毒対応一覧表(p.24)」を参考に、各材質にあった消毒薬をご使用ください。
- ※各種消毒薬の取り扱いについては、各種消毒薬付属の添付文書及び取扱説明書または、各 購入店もしくは、各メーカーへお問い合わせください。
- 1. 部品全体が十分に浸漬できる深めの容器で行います。 (容器はフタのできる遮光性が高いものを推奨します)
- 2. 管状の部品は空気が残らないように消毒液を通して全体を浸します。
- 3. 消毒薬が残らないように水で十分にすすぎます。
  - ※次亜塩素酸ナトリウムや塩化ベンザルコニウムなどの水溶液は腐食性が強いので、必ず水洗いを行い、水溶液を洗い流します。
  - ※気化した消毒薬を吸い込むことにより、内部機器を腐食させる恐れがありますのでご注意ください。
- 4. 直射日光を避け、陰干しで十分に乾かします。

# ▲警告

• 洗浄・消毒した部品は、十分に水洗いを行い、すみやかに乾燥させた上、必ず清潔な場所に保管してください。



# 注意

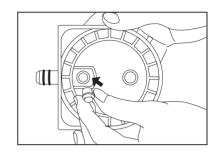
• 消毒の前に必ず洗浄を行ってください。



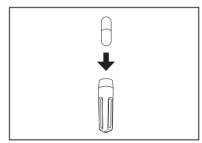
# 組み立てかたと保管について

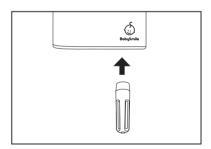
※部品の組み立てを行い本体に取り付けた上で保管してください。

ボトルカバーにフロートストッパーを 取り付けます。

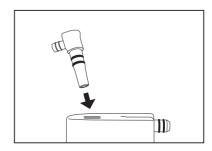


**2** フロートガイドにフロートをセットし、 ボトルカバーに取り付けます。





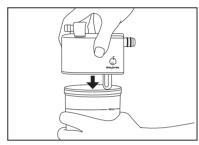
3 ボトルカバーに吸引チューブ接続口を 接続します。



**4** 吸引ボトルにボトルパッキンを取り付けます。



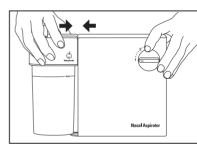
5 吸引ボトルにボトルカバーを垂直に押しつけて取り付けます。取り付けた後はボトルカバーを回して、しっかりと装着されていることを確認してください。



**6** 本体を安定した場所に置き片手で押さえます。

ボトルカバーをもう片方の手で持ちスライドさせて本体に取り付けます。

※角度をつけて取り付けると、取り付けの部品が 破損することがありますのでご注意ください。



清潔な場所に保管します。

# ・ 部品は水気を十分に切ってから取り付けてください。 ・ 不安定な場所や、子供の手が届くところには置かないでください。 ・ 次の場所には設置及び保管しないでください。 ・ 次の場所には設置及び保管しないでください。 ・ 化学薬品の保管場所、ガスの発生する場所 - 水のかかる場所 - ほこり、塩分、硫黄分、湿気などの多い場所 - 傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所 - 直接日光の当たる場所

## 消毒対応一覧表

15 - 6	==	消毒方法		
部品名	材質	煮沸	次亜塩素酸ナトリウム (ミルトンなど)	エタノール (消毒用エタノールなど)
シリコンノズル	シリコーン	0	0	0
ノズルコネクター	PP	×	0	0
吸引チューブ	シリコーン	0	0	0
吸引チューブ接続口	ABS	×	0	0
ボトルカバー	ABS	×	0	0
吸引ボトル	PS	×	0	0
フロートストッパー	天然ゴム	0	0	0
フロート	PP	×	0	0
フロートガイド	ABS	×	0	0
ボトルパッキン	シリコーン	0	0	0
ボトルカバー接続口用 Oリング	シリコーン	0	0	0
吸引チューブ接続口用 ロリング	シリコーン	0	0	0

# 故障と点検について

# **故障かなと思ったら**(修理を依頼される前にお読みください)

## 動作チェックリスト

現象	原因	対 策
	電源プラグが抜けていませんか。	専用ACアダプターを正しく差し込んで ください。
	専用ACアダプターのコード が断線していませんか。	専用ACアダプターを交換してください。 ※ACアダプターはアダプタ付属のLED 点灯時のみ電力が供給されます。
	指定の専用ACアダプターを 使用していますか。	指定の専用アダプター以外は絶対に使用 しないでください。
ポンプが作動しない	コンセントに電気がきていま すか。	電気がきている場合は、専用ACアダプターのLEDが点灯します。 ※点灯しない場合は、専用ACアダプターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご連絡ください。
	電源スイッチを正しく入れて いますか。	電源スイッチを入れてください。
	製品の稼働時間は 1500 時間を越えていませんか。	使用環境によって大きく異なりますが、 ポンプのモーターの寿命は約 1500 時間 です。お買い上げの販売店にご連絡くだ さい。
	上記以外の原因	本体内部での異常が考えられます。お買 い上げの販売店にご連絡ください。
ポンプは作動するが 吸引しない または 吸引力が弱い	ポンプの作動不良	◆以下の方法でポンプのエアリークテストをしてください。 本体から吸引ボトルを外し、調節ツマミを「1」の状態で本体の吸気口の穴を親指の腹で隙間がないようにしっかりと塞ぎ、電源スイッチを「ON」にします。そのまま調節ツマミを「3」にまわし、10 秒ほど吸引した後、親指に吸気口の跡が丸く残れば異常はありません。ボトル部分でのリーク(空気漏れ)が考えられますので次のリークチェックを行ってください。吸引圧を感じられない場合はポンプの故障の可能性がありますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

現象	原因	対 策
		◆ポンプのエアリークテストで問題がない場合は、以下の方法でボトルまわりのエアリークテストをしてください。
ポンプは作動するが 吸引しない または 吸引力が弱い	ボトル部分でのリーク (空気漏れ)	P22 ~ P23 を参考に、ボトル、ボトルカバーを正しく装着し、調節ツマミを「1」の状態で電源スイッチを「0N」にします。そのまま調節ツマミを「3」にまわし、吸引チューブ接続口の穴を親指の腹で塞ぎます。塞いだ指に吸引圧を感じた状態で10 秒ほど吸引した後、接続口の跡が丸く残れば異常はありません。この場合はチューブやノズルに亀裂がないか確認してください。吸引圧を感じられない場合はボトルまわりの接続部分の空気漏れが考えられます。次の各箇所のリークチェック(空気漏れ検査)を行ってください。

## リークチェック(空気漏れ検査)リスト

チェック箇所	チェック項目	処 置
ボトルパッキンと 各接続口のOリング	吸引ボトルのパッキンやボトルカバー接続口用の0リング、吸引チューブ接続口用の0リングは正しく取り付けられていますか。 よじれや、目に見える亀裂などはありませんか。	ボトルパッキンと各接続口のOリングを 正しく取り付けてください。 亀裂がある場合は新しいものに交換して ください。 汚れている場合は洗浄してください。 よじれがないようにまっすぐ装着してく ださい。 パッキン、Oリングは下図のように装着 します。
吸引ボトルと ボトルカバー	吸引ボトルやボトルカバーに、 亀裂などはありませんか。 吸引ボトルとボトルカバーが 曲がって取り付けられていま せんか。 取り付けた後、吸引ボトルを 裏から見たとき、ボトルパッ キンがはみ出していませんか。	ボトルパッキンを水で濡らし、ボトルカバーを両手の腹で真上からしっかりと取り付けてください。 ② その後、ボトルカバーを 左右にひねってください。
ボトルカバーと 本体の接続部	ボトルカバーが本体にしっか り取り付けられていますか。	ボトルカバーを本体にまっすぐ奥まで装着してください。 ※本体とボトルの隙間が5mm程度であれば正常にご使用いただけます。
上記以外	上記以外	お買い上げの販売店にご連絡ください。

# ▲警告

• 絶対に分解・改造を行わないでください。発火や感電、けがの恐れがあります。



## **介注意**

ボトルカバーへはフロートセットを必ず取付けて使用してください。



# 日常点検について

#### 日常点検チェックリスト

点検項目	点検内容	処置方法
専用ACアダプター	専用ACアダプター本体、コード、 プラグに変形や損傷、断線などが ありませんか。	断線など破損している場合は、交 換してください。
フロートセット	フロートが円滑に動いていますか。	汚れがある場合は分解洗浄してく ださい。
ボトルカバー	フロートセットが正しく取り付け てありますか。	正しく取り付けてください。汚れ がある場合は洗浄してください。 紛失した場合は、お買い上げの販 売店にご連絡ください。
吸引ボトル	ヒビ割れ、傷などがありませんか。 ボトルパッキンが正しく取り付け てありますか。	破損している場合は、交換してください。
吸引チューブ接続口	吸引チューブ接続口用 O リングが 正しく取り付けてありますか。	汚れがある場合は洗浄してください。紛失した場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
電源スイッチ	電源スイッチの「ON」「OFF」 動作に異常がありませんか。	動作異常がある場合は、電源の故障が考えられます。お買い上げの販売店にご連絡ください。
ポンプ	動作音に異常がありませんか。	動作異常がある場合は、ポンプの 故障が考えられます。お買い上げ の販売店にご連絡ください。

## 保守(ユーザー)点検チェックリスト

点検項目	点検内容	処置方法
ボトルカバー ボトルパッキン 吸引チューブ接続ロ フロートセット 吸引ボトル ボトルカバー接続ロ用 O リング 吸引チューブ接続ロ用 O リング	ヒビ割れ、傷、劣化などがありませんか。	破損している場合は、交換してください。
吸引チューブ	ヒビ割れ、傷、劣化などがありませんか。	汚れがある場合は、洗浄してください。 破損している場合は、交換してください。
吸引圧調節ツマミ	動作状態において、吸引チューブを折り曲げ、吸引圧調節ツマミを回すことで吸引力が変わりますか。	動作異常がある場合は、吸引圧調 節器などの故障が考えられます。 お買い上げの販売店にご連絡くだ さい。

## ▲警告

• 絶対に分解・改造を行わないでください。発火や感電、けがの恐れがあります。



# 記号について

## 記号について

記号	名 称	説明
	クラスⅡ機器	クラスⅡ機器とは、電撃に対する保護を基礎絶縁だけに 依存せず、二重絶縁または強化絶縁のような追加保護措 置が講じられた機器です。
===	直流	本製品は直流 12 V駆動です。
⊖-€-⊕	直流コネクター極性	直流プラグまたはジャックの極性です。
1.2.3	3段階調節	吸引力を3段階に調節できます。
፟ 大	BF 形装着部	電撃に対する保護の程度が、BF 形装着部であることを示しています。IEC60601-1 規格に規定される要求事項に適合しています。
$\triangle$	注記、警告付属文書参照	操作前に関連する付属文書を参照する必要があることを示しています。 本書(取扱説明書兼品質保証書)および添付文書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
EMC適合	EMC 適合	本製品は EMC 規格「IEC60601-1-2:2007」に適合しています。ただし、他の医療機器、電子機器との併用において相互に影響を生じる場合があります。本書(取扱説明書兼品質保証書)および添付文書にしたがって正しい設置、取り扱いをしてください。

# 仕様と別売品について

# 仕様について

#### 仕 様

販 売 名	メルシーポット
型式	S-502
認証番号	226AGBZX00003000
類別	機械器具 32 医療用吸引器
一般的名称	電動式可搬型吸引器
医療機器分類	管理医療機器
電撃に対する保護の形式	クラスⅡ機器
電撃に対する保護の程度	BF 形装着部
吸 引 圧	-80kPa ± 15%(最高吸引圧)
ポンプ排気流量	15L/min ± 15%
吸引ボトル容量	$335\text{mL} \pm 15\%$
電源 (専用 AC アダプター)	入力:交流 100-240V(50 - 60Hz)/0.6A、出力:直流 12V/2.08A 型番:GTM 41060-2512
定格時間	5分
使用環境温湿度	+ 5℃~+ 35℃ 75%RH以下(ただし結露なきこと)
保管環境温湿度	— 10℃~+ 60℃ 75%RH 以下(ただし結露なきこと)
気 圧	70kPa ~ 105kPa
外形寸法	幅 240mm × 奥行き 85mm × 高さ 174mm (突起部含まず)
本 体 重 量	約 1.25kg(AC アダプターを除く)
付属品	吸引器本体、専用ACアダプター、吸引チューブ、ノズルコネクター、シリコンノズル 小2個、取扱説明書兼品質保証書(本書)、添付文書
製造販売元	<b>シースター株式会社</b> 〒 108-0075 東京都港区港南 1 丁目 8 番 40 号 A-PLACE 品川4F

<sup>※</sup>上記性能は出荷時のものであり、で使用の期間・頻度などにより性能は低下してきます。性能を維持し、安全にで使用いただくために、日常点検、保守点検(ユーザー点検)および1年に1度は製造販売元または修理業者による年次点検、整備を行ってください。

# 別売品について

#### 別売品一覧



#### ※バラ売り不可

ボトルカバー



吸引チューブ接続口

フロートセット



(0 リング付き)



(S-502 専用ボトルパッキン付き)



(0 リング付き)



フロートガイド/フロート /フロートストッパー

#### ボトル部品セット ※バラ売り不可

吸引チューブ接続口 ノズルコネクター

Oリング×4

S-502 専用 ボトルパッキン×2

消耗品セット ※バラ売り不可



(0 リング付き)







#### その他 バラ売り商品

AC アダプター

吸引チューブ









フロートガイド/フロート/フロートストッパー

フロートセット

## **シリコンノズル**(ベビースマイル・メルシーポット用)

<スタンダードタイプ>



小2個ヤット 医療機器届出番号: 13B1X10068000201

<ロングタイプ>



医療機器届出番号: 13B1X10068000202

別売品についてのお問い合わせや 修理のご依頼は下記へご連絡くだ さい。

お客様サービスセンター

03-4511-8855

受付時間 平日 9:00~18:00 (土日祝日・夏期および年末年始休業を除く)

# 保証規定と保証書

## 保証規定

- 1. 保証期間はお買い上げ後1年間です。
- 2. 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
- 3. 取扱説明書、本体貼り付けラベル等の注意にしたがって正常な使用状態で故障した場合に無償修理または交換いたします。
- 4. 無償修理を受けられるときは、本保証書をご提示のうえ、お買い上げいただいた販売店まで修理をご依頼ください。
- 5. 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
  - (イ)誤った使用、不注意による故障または損傷の場合。
  - (ロ) 保管上の不備、ご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷の場合。
  - (八) 火災、地震、水害、落雷などの天変地異、電源の異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
  - (二) 弊社の許諾を受けることなく、修理や改造を行った場合。
  - (ホ) 本保証書の提示がない場合。
  - (へ) 本保証書に販売店、お買い上げ日などの記載の不備がある場合、あるいは内容を書き換えられた場合。
  - (ト) 消耗部品及び付属品のお取り替えの場合。
  - (チ) 付属品以外の部品を取り付けて使用した場合。

## 品質保証書 このたびは、メルシーポット S-502 をお買い上げいただきありがとうございました。 商品は、厳重な品質検査を行っておりますが、万が一、通常のご使用において不具合が発生いたしま した場合は、ご購入日より1年間、無償修理または交換をいたします。 お買い上げいただきました販売店へ本保証書をご提示の上修理をご依頼ください。 販売名 電動鼻水吸引器 メルシーポット S-502 お買い上げ店名 ご芳名 (印) ご住所 ご住所 TEL ( TEL ご購入年月日 製造販売元 シースター株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1 T目8番40号 A-PLACE 品川4F